

1 総評

本事業では、公募型プロポーザル方式が採用され、あらかじめ上限価格を設定した上で質を重視した事業者の募集を行った。これを受け、4つの応募グループから斎場の将来のあり方を踏まえた中身の濃い提案がなされた。各グループには斎場事業を実施するにあたっての専門的な知見を有する企業が含まれ、施設計画のみならず、運営・維持管理・事業の安定性等の面でレベルの高い計画が示された。

本審査会においては、下記の評価項目により、応募者からの提案内容を審査した。

- ア 事業計画の内容に関する提案
 - (ア) 施設整備計画
 - (イ) 施設の運営に関する計画
 - (ウ) 施設維持管理計画
 - (エ) その他の取り組みに対する提案
- イ 事業の確実性及び安全性に関する提案
- ウ 提案価格

審査にあたっては、5回にわたる審議に加え、応募者へのヒアリングにより慎重な検討を行った。

その結果、会葬者の個別性に対する十分な配慮、優れた動線計画、施設計画と運営計画の有機的連動、豊富な実績などを提示した大林組グループを、委員の総意で最優秀提案応募者として選定した。

2 採点結果表

審査項目(配点)		得点			
		A グループ	B グループ	C グループ	D グループ
ア 事業計画の内容に関する提案	(ア) 施設整備計画(20点) 施設整備方針、将来対応等、火葬炉	10.0	14.0	4.0	20.0
	(イ) 施設の運営に関する計画(20点) 火葬炉の運営、葬祭場等の運営	14.0	10.0	10.0	20.0
	(ウ) 施設維持管理計画(10点) 火葬炉、その他	7.0	5.0	5.0	10.0
	(エ) その他の取り組みに関する提案(10点) 供用開始までのスケジュール、工程計画、 施行の方針、その他の取り組み内容	5.0	7.0	5.0	10.0
	計(60点)	36.0	36.0	24.0	60.0
イ 事業の確実性及び安全性に関する提案(10点)					
(ア) 資金計画の妥当性	5.0	10.0	2.0	7.0	
(イ) S P C の経営全般					
(ウ) 事業遂行の確実性					
【事業提案に対する総合評価】					
小計(70点)	41.0	46.0	26.0	67.0	
【総合評価上位2者に対する価格評価】					
ア 提案価格(30点)		30.0		27.2	
合計(100点)		76.0		94.2	

3 講評

ア（ア）事業計画の内容

4案とも一定の水準を確保していた。

Dグループの提案は、会葬者の個別性に対して十分な配慮がなされており、優れた動線計画が高く評価された。

Cグループの提案は、基礎杭を使用しない設計に対する十分な説明が得られなかった。

ア（イ）施設の運営に関する計画

豊富な実績を反映した施設運営計画を提示したグループが高い評価を得た。

特にDグループの提案は、運営計画と施設計画が有機的に連動している点が優れていた。

ア（ウ）施設維持管理計画

全ての提案において事業期間内の適切なメンテナンスが考慮されていた。

特にAグループ及びDグループの提案は、豊富な実績を反映したバックアップ体制等が評価された。

ア（エ）その他の取り組み

各提案とも工程上の問題はなく、地元企業との連携などにも配慮が見られた。

特にDグループの提案は、より具体的な提案がなされていた点が評価された。

イ 事業の確実性、安全性

いずれも確実性、安全性に問題はなかった。

Bグループの提案は、優れたファイナンス技術を活かした資金計画が高く評価された。

Dグループの提案は、格付けの高い企業によるSPCへの強い支援の姿勢が評価された。

4 審査会委員

会 長 岸 井 隆 幸 委員
(日本大学理工学部教授 工学博士)

副会長 八木澤 壯 一 委員
(共立女子大学教授 工学博士)

委 員 井 熊 均 委員
(株式会社日本総合研究所 創発戦略センター所長)